



港北区青少年指導員協議会広報紙

港北青指

第 38 号

平成 29 年 1 月 発行

発行者
港北区青少年指導員協議会
編集 広報委員会
事務局
港北区大豆戸町26-1
港北区役所地域振興課内
TEL 045-540-2240
FAX 045-540-2245

港北青指

検索



第25期 スタートにあたって

神奈川県青少年指導員連絡協議会
横浜市青少年指導員連絡協議会

会 長 石 井 一 也

25期のスタートにあたり、紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

神奈川県及び横浜市より委嘱を受け、県下で約5,200名、市内で約2,700名の青少年指導員の皆様には、日頃より青少年を取り巻く多様な諸問題にお取り組みいただき、その健全育成活動に不断の熱意をもってご協力をいただいております事に対し、衷心より感謝申し上げます。

さて、私共の青少年指導員制度は、戦後の「児童愛護班活動」等に端を発し、昭和43年に「神奈川県青少年指導員制度」となり、第25期、50年を迎える期となりました。戦後の荒廃期・高度経済成長期・第一次オイルショック・バブル期と、大きなうねりを経て現在に至って

おります。

その間、驚くほどの速さで世情が変わり、少子化・核家族化や地域の繋がりの希薄化が問題視され、更にインターネットや携帯電話、特にTwitter・LINE等SNSの急激な発展、普及により青少年を取り巻く環境は激変し、潜在化しております。合理化や利便性を推し進めるあまり、私たち人間としての「こころ」までがデジタル化に向かってはいないでしょうか。SNS等は、人と人の繋がりを支援してくれる利便性の高いツールの一つですが、基本は、顔と顔の見える関係、感情・表情・情熱等が伝わり、互いに理解し合える距離感が大切に思います。今こそデジタルからアナログへと舵を切り、将来を担う青少年が、夢や希望を抱いて成長していけるよう「あたたかく、やさしい、ひと声かけ運動」のコンセプトを基軸とし、地域力の更なる充実、地域ぐるみでの青少年育成を目指し、家庭・学校・地域との連携を一層深化させ、一丸となって活動して参りたいと存じます。皆様のご支援ご協力をお願い致しご挨拶といたします。

2面でもっともっとボトルロケット大会を紹介しています！

平成28年度青少年の健全育成を進める県民大会



「開会のことば」

オープニングは、横須賀学院中学高等学校ハンドベル・クワイアの演奏が披露されました。開会のことばが、かながわ青少年社会環境健全化推進会議会長 石井一也氏からありました。続いて、主催者あいさつが、神奈川県副知事 中島正信氏並びに横須賀市副市長 沼田芳明氏からあり、最後に来賓紹介がありました。次に、「情報化社会を生きる青少年のために～青少年インターネット利用状況と課題～」のテーマで千葉大学教育学部教授・副学長 藤川大祐氏の基調講演がありました。スマートフォン利用率の急増、多様なインターネット端末の普及等々分析をもとに問題点についてもテーマにそって、パネルを使って分かりやすい説明がありました。スマートフォンの急速な普及に伴い、ネット依存、ネット犯罪、ネットいじめが社会問題化してきたとのこと、利便性を追求することは、利用者自身のモラルや厳しい自己規制が求められることを認識しなければならないことを改めて感じました。休憩の後、「インターネットと上手に付き合おう」とのテーマで、パネルディスカッションがありました。パネリストは、LINE株式会社公共政策室CSRチームマネージャー 浅野秀樹氏、県立逗子高等学校総括教諭 藤井光葉氏、青少年パネリスト横須賀市立横須賀総合高等学校と横須賀市立大津中学校の生徒、コーディネーター千葉大学教育学部教授 藤川大祐氏です。各パネリストの皆さんのテーマに対する取組状況、問題発生に対する体験談等の発表がありました。その後、参加者との質疑応答がありました。次回は、小田原市での開催予定です。(KS)

平成28年7月9日(土)横須賀市文化会館において、「平成28年度青少年の健全育成を進める県民大会」が「社会全体で青少年をはぐむ環境づくり～情報化社会を生きる青少年のために～」をテーマに開催されました。県民大会は青少年の健全育成を地域で担うために、家庭・学校・地域など関係者の連携・協力・信頼関係を深め、豊かなコミュニティづくりを進めるうえでの課題等を考える場として開催されています。今大会は急激に進展する情報化社会において、インターネットの普及、情報ツールのパーソナル化等に伴い、青少年の有害情報へのアクセス、有害サイトを介した犯罪被害、人間関係のトラブル等の弊害が生じているため、こうした問題に対する取組を進めるうえでの課題について考えます。

第20回 ペットボトルロケット大会

今年で記念すべき20回目を迎えた「ペットボトルロケット大会」ですが、雨天のため残念ながら中止という結果に終わってしまいました。20回の歴史の中で中止になってしまったのは初めての事です。来年も開催を予定していますので、楽しみにしてほしいと思います。今回は、各地区の講習会の様子を紹介します。

■各地区講習会の様子



毎年7月から8月にかけて、青少年指導員の実行委員を中心に各地区で製作講習会が行われています。上手にできたり、うまくいかなかったり、みんな一生懸命作っていました。中には、子どもより張り切っているお父さんの姿もあり、ほほえましい光景でした。



作り方を説明しまーす！



みんなで製作開始



家族でワイワイ



ひとりでもくもく



雨二モマケズ



頑張って、燃料注入



一斉に発射！

■各地区の独自性



菊名地区では、毎年本選参加者の子どもたちに参加賞を配っています。参加賞は文房具ですが、ただ配るのではなく、手づくりしたロケットの形の袋に入れて配っています。

日吉地区では、ペットボトルロケットの作り方を写真のようにモデルを使って説明しています。かなり年季が入っていますが、毎年使っている優れたものです。



■過去のデザイン部門の入賞作品

デザイン部門への出展作品は、年々レベルが高くなっている印象です。最近ではその年に流行ったキャラクターを型どったロケットが目立っています。参考になりましたでしょうか……



第19回入賞作品



第18回入賞作品



第17回入賞作品

ペットボトルロケット大会は、区民の親睦や地域連帯意識の高揚、家族のふれあいを深める場となること、さらに、リサイクルなどの環境問題について考えるきっかけを提供するとともに、工作を通じて子どもたちの豊かな情操と優れた創造力を養うことを目的に開催しています。

横浜市青少年指導員研修会

平成 28 年 9 月 25 日（日）鶴見公会堂において、「平成 28 年度横浜市青少年指導員研修会」が、「地域の温もりと家族のやさしさで育つ青少年」をテーマに開催されました。

オープニングイベントは鶴見エイサー潮風（うすかじ）による、踊りながら太鼓を打ちながら力強く迫力あるパフォーマンスが披露されました。開会の挨拶のあと、鶴見区青少年指導員の活動報告がありました。毎年実施している、区民フェスティバルへの参加や鶴見区内公立中学校生徒交流の集いの企画・運営についての報告、また、ロビーでは鶴見川や入江川を紹介するパネルの展示が行われていました。

休憩をはさんで總持寺後堂前川睦生老師より基調講演をいただきました。前川氏のお話では、地域の和を築くには、一人一人が譲り合いや協力し合う気持ちを持つことが大切であるということ、また、家庭においては、親は子に対してただ勉強やしつけを押し付ける事はせず、話し合いを持つことが大切であるとおっしゃっていました。

基調講演の後で、参加者からの質問が2つありました。1つ目は、人は欲をかいてはいけないものなのでしょうか、という質問に対して、欲とは生きていくうえでは必要なものであるが、度が過ぎてはいけない。2つ目は、身近に問題を抱えた子どもがいた時、どのように接したら良いのでしょうか、という質問に対しては、どんな小さい事でも、話を聞いて信頼関係を築く必要があると前川氏はおっしゃっていました。

次回は、緑区で開催されます。（Y T）



前川氏の基調講演

遊び場紹介 VOL. 4

天神平広場

東急東横線大倉山駅より徒歩20分、
市営バス「表谷戸」より徒歩5分

天神平広場は「熊野神社市民の森」の一部で、樽町の鎮守「杉山神社」の境内につながっています。地元愛護会により整備・管理されている自然いっぱいの公園です。かつて樽町の子どもたちはここを遊び場として「昆虫採集」や「土器掘り（今はできません）」、「ボール遊び」を楽しんだと聞いています。大通り沿いにありながらも非常に閑静で、広場は地元幼稚園・保育園の安全な遊び場や、ワンちゃんとの散歩コースとして人気があります。また桜の木に囲まれるグラウンドはペタンクなどのスポットとして活躍しています。

大倉山駅から天神平までの行程は、高台ならではの光景が広がり、散策路としてはかなり自慢できるものがあります。個人的には春の風景が一番。グラウンドを覆う桜は絶景で、満開の桜は目を奪うものがあります。また散った桜はグラウンドを覆い、まさに「ピンクのカーペット」で満開の桜に劣らぬ風景となります。



「満開の桜」



春は桜と新緑、秋はどんぐり拾い、冬は落ち葉を踏みしめての散策を楽しめます。野鳥や虫たちの声を聞きながら心身ともにリフレッシュできます。夏はといえば「カブトムシ」。今年の夏はさほどではありませんでしたが、この3年程驚くほど採れたとの噂があります。（蚊も驚くほど発生していますので要注意）。

また「天神平の地下には海軍の施設が眠っている」などの言い伝えがあり、何やら気になる場所でもあります。

一度散策に訪れてみてはいかがでしょうか？（Y F）

港北区青少年指導員研修会のお知らせ

〔ひと声かけ運動〕の取組み紹介／航空自衛隊「ブルーインパルス」 1番機飛行隊長の講演

「ひと声かけ運動」は「おはよう、こんにちは・・・」から始まる日常会話をきっかけに、子どもたちとの関わりを深め、地域全体で子どもたちを見守り、犯罪のない安心して子育てできるまちづくりを目指す運動です。平成13年度から青少年指導員が中心となり、自治会町内会や区PTA連絡協議会、区商店街連合会、警察、区役所などの関係諸団体と連携して進めています。

運動を開始した当時は、いじめ・暴力・薬物乱用・幼児虐待・ひたくり・万引きなどの事件が報道されていました。15年経った現在でも、いまだに青少年に関する事件を報道等で目にします。時代とともに私たちの生活形態が変わっても、こうした青少年に関わる事件を少しでも減らすために、地道な活動を継続して取り組んでいく必要があると思います。

平成29年3月18日(土)に港北公会堂で開催する「港北区青少年指導員研修会」では、「ひと声かけ運動」のこれまでの取組みなどについて発表を行い、「ひと声かけ運動」の重要性をあらためて見直す機会としたいと考えています。「あいさつから始まる日常会話」が青少年との信頼関係を築く一歩となることを改めて感じるための研修会になればと思います。

また、地元・県立港北高等学校出身で、現在、航空自衛隊「ブルーインパルス」1番機飛行隊長の稲留仁氏をお招きして、講演会を行います。「夢の実現について」をテーマに、青少年へ夢を持つことの大切さ、夢を実現させるために必要なことなど、ご自身の経験をもとにお話しいただきます。お忙しい中、松島基地よりお越しいただきます。なかなか聞くことのできない貴重なお話になりますので、多くの方にご参加いただきたいと思います。

【日時】平成29年3月18日(土) 18時から(開場17時30分) 【会場】港北公会堂ホール

全市一斉統一行動 パトロール活動(新羽地区)

7月23日(土)、全市一斉統一行動パトロール活動を実施しました。新羽地区では、点在するコンビニ・公園を重点にパトロールしています。今年はスマホアプリの影響か公園に大人を見かけましたが子どもたちの姿はなく、新羽駅周辺では、帰宅を急ぐ会社員ばかりでした。(KK)

社会環境実態調査

青少年指導員の重要な活動のひとつに社会環境実態調査があります。対象店舗であるインターネットカフェ・まんが喫茶(18歳未満の深夜立入制限の掲示、たばこ・酒類の自動販売機の設置の有無等の調査)、古書店等(有害図書類の区分陳列等の調査)を訪問します。青少年を取り巻く社会環境の健全化に向けた取組に役立てます。毎年この活動により成果が現れていると思います。

第25期港北区青少年指導員協議会 地区会長一覧

- 諸橋 則子 (新吉田) (会計)
 - 鈴木由美子 (日吉) (会計)
 - 石井 一也 (篠原) (会長)
 - 白石 友恵 (師岡) (副会長)
 - 佐々木貞貴 (大倉山) (副会長)
 - 小澤 純子 (菊名)
 - 吉田 哲也 (大曽根)
 - 嶋村 公 (樽町) (監事)
 - 竹生 恵子 (綱島)
 - 荒川 進孝 (高田)
 - 松本 一男 (城郷)
 - 豊岡 修 (新羽)
 - 伊藤 伸彦 (新吉田) (監事)
- 〈前列左から〉



編集後記

2面に記載している通り、今年度のペットボトルロケット大会は予備日も含め雨天に見舞われ、中止となってしまいました。港北青指としても記載予定のメインの記事が載せられないという初めてのケースと思います。

ペットボトルロケット大会への参加、および港北青指での報告を楽しみにしておられた方もいらっしゃると思うと、とても残念です。

来年度のペットボトルロケット大会は、今回の中止分も込めて盛り上がる大会にしたいと思いますので、港北青指第40号での報告を期待しておいてください。(KM)